

こんなに大きくなったよ

小学校・2～3年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「生命尊重」）

＝【人権感覚育成のための視点】

出生時と比べてどのくらい成長しているかを実感することや、ゲストティーチャー等から出生前の様子や成長に関わる方の思いを聞くことで、自他の生命を尊重することができるようにする。

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）

3 人権教育上の視点

- （1）自分及び他者の成長や命の温かみを知ること、自他の生命を尊重しようとする。（価値・態度）
- （2）成長に関わった方の気持ちを想像したり、考えたりすることができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

現在と出生時の一般的な身長と体重を比べることで、自分がどのくらい成長をしてきたのかを知る。

○活動2

出生前やお腹の中でどのように成長してきたかを知る活動や心臓の音を聴く活動を通して、命の温かさに気付く。

○活動3

ゲストティーチャー等から話を聞き、命の大切さについて考え、自他の生命を尊重しようとする。

2 準備するもの

- 事前アンケート
- 事前アンケート結果
- ワークシート
- 出生時と現在の身長それぞれの平均の長さに切った紙テープ
- 赤ちゃんの人形
- ピンで穴をあけた画用紙
- 聴診器

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「出生時と現在の身長・体重の比較」
 - ① 出生時の一般的な身長と学級の平均身長を紙テープの長さで比較し、どのくらい成長しているのかに気付く。
 - ② 赤ちゃんの人形を抱いて、赤ちゃんだったころの自分の重さを体感し、成長していることに気付く。
- 活動2 「出産前の様子の確認」
 - ① ピンで穴をあけた画用紙を見て、そこから現在の自分に成長したことを知る。
 - ② どのくらいの期間、お腹の中にいたのかを知る。
 - ③ 生まれる直前、赤ちゃんはどのような格好でいたのかを知る。
- 活動3 「心臓の鼓動を体感」
 - ① 自分や友達の心臓の鼓動を感じることで命の温かみを知る。
- 活動4 「振り返り」
 - ① 活動を振り返り、感じたことや思ったことを交流する。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 母子、父子家庭や里親など家庭環境や生育歴が複雑な児童への配慮を欠かさない。あくまでも一般的な成長について触れるようにする。
- 成長には個人差があることを指導し、成長度の競い合いにならないようにする。
- 養護教諭、助産師等をゲストティーチャーとして招くとより効果的である。
- ゲストティーチャーを招く場合、以下のような事前打ち合わせを行う。
 - <ゲストティーチャーに話してほしい内容等>
 - ・赤ちゃんのもと（卵子）の大きさ（ピンで穴を空けた画用紙を提示）
 - ・生まれてくるまでの期間
 - ・お腹の中にいる様子

- ・心臓が動いている様子
 - ・成長に関わった方々の思いや気持ち
- <配慮してほしい内容>
- ・活動2における出生前の話では、詳しく話すことはせず、誰もが赤ちゃんのもと(卵子)から同じような過程で成長しているということを伝える。

III 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T1:担任、T2:ゲストティーチャー) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
10分	1 事前アンケートの結果の提示 T1 小さい頃と比べると、できるようになったことが増えましたね。みなさんは、どのように成長してきたのでしょうか。 C 覚えていないよ。 C 考えたことがなかった。	・事前アンケートの結果を提示することで、自分の成長に関心をもてるようにする。
	どのように大きくなってきたのかを調べてみよう	
	2 出生時と現在の身長体重のそれぞれの平均の比較 T1 生まれた時の身長と今の身長の違いはどのくらいあるのかな。 C 40cm ぐらい。 T1 生まれたばかりの身長の平均は、50cm です。3年生の身長の平均は、130 cm です。違いはどのくらいかな。 C 80cm ぐらい。 T1 生まれた時と今の体重を比べてみましょう。 C ずいぶん重くなったなあ。 C 赤ちゃんって重いんだな。小さくてかわいいな。 T1 生まれた時と今の身長体重の平均を比べて感じたり考えたりしたことを書きましょう。 C こんなに成長していることに驚いた。	・発育には個人差があることを伝え、成長度合いの競い合いにならないようにする。 ・出生時と現在の身長の違いが分かりやすいよう、それぞれの身長の平均を紙テープの長さで示す。 ・赤ちゃんの人形を抱くことで、出生時の重さを実感できるようにする。 ◎自分だけではなく、他者も同様に大切な存在であることを児童に気付かせるために、友達の身長や体重の成長にも目を向けるように促す。(価値・態度)

	C 自分だけでなく、友達も同じように成長しているんだな。	
20分	<p>3 出産前の様子の確認</p> <p>T2 赤ちゃんのものは、どのくらいの大きさかな。</p> <p>C 野球のボールぐらい。</p> <p>T2 赤ちゃんのものは、この大きさです。(ピンで穴をあけた画用紙を見せる。)</p> <p>T2 赤ちゃんのものとから、赤ちゃんになるまで、どのくらいお母さんのお腹の中にいるのかな。</p> <p>T2 10か月の間、お腹の中で生活しています。</p> <p>C すごい。</p> <p>T2 生まれる直前、赤ちゃんはどんな格好でいたのかな。</p> <p>C 横になっている。</p> <p>4 自他の心臓の鼓動を体感</p> <p>T2 ずっと止まらずに動いているものがあります。何でしょうか。</p> <p>C 心臓かな。</p> <p>T2 心臓はどう動いているのかな。</p> <p>C ドクドクしている。すごい。</p> <p>T2 みんなの心臓はどんな音がするのかな。聞いてみましょう。</p> <p>C ドクドクしている。</p> <p>T2 自分の心臓の音を聞くことができたなら、隣の友達の手臓の音も聞いてみよう。</p> <p>C 同じ音がする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーとして養護教諭や助産師に出生前のことを話してもらおう。 ・全員にピンで穴をあけた画用紙を配布し、赤ちゃんのものの大きさを確認できるようにする。 ・自分だけでなく友達も同じように10か月の間、大切に育てられていることに気付かせる。 ・実際にお腹の中にいる様子を画像で見せる。 ・心臓が実際に動いている様子を動画で見せる。 ・聴診器があれば、聴診器で心臓の鼓動を聞かせる。 <p>◎自他の成長や命の温かみを感じられるようにするために、自分や他者の心臓の鼓動を聞いてみるように促す。(価値・態度)</p>
15分	<p>5 振り返り</p> <p>T1 このように生まれ、成長してきたみなさんのことを周りの人たちはどのように思っているのでしょうか。代表でゲストティーチャーにお手紙を読んでもらいます。聞いてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の児童も自らと同じように大切に育てられたことに触れて、命の大切さも考えさせる。

<p>T1 今日学習したことについて、気付いたことや考えたことを書きましょう。</p> <p>C 生まれて生きていることがすごいと感じました。たくさんの人に守られていることが分かりました。</p> <p>C 自分だけでなく、友達も同じようにたくさんの人に守られていることが分かったので、自分も友達も大切にしていきたい。</p>	<p>◎自分の周囲の人たちの存在の大きさについて言及できている感想を取り上げて紹介したり、周囲の人たちの支えにも目を向けられるように助言をしたりする。(技能)</p>
---	---

IV 資料

(1) 事前アンケート

アンケート

() 年 () 組 名前 ()

小さなころとくらべて、どんなことができるようになりましたか。

(れい) ・わたしは、〇〇のおてつだいができるようになった。

・わたしは、かん字をたくさんかけるようになった。

・わたしは、〇〇が苦手だったけれど、最後までかんばれるようになった。

・わたしは、
・わたしは、
・わたしは、
・わたしは、
・わたしは、

(2) ワークシート

こんなに大きくなったよ

()年()組 名前()

- 生まれた時と、今のしん長・体じゅうをくらべて、気づいたことを書きましょう。

- 今日の学習で「いのち」について気づいたことや、考えたことを書きましょう。
